

枚方市 みどりの基本計画

人もみどりも元気でやさしい枚方へ



平成28年3月 枚方市

はじめに

枚方には、東に生駒丘陵に連なる里山があり、西には大河の淀川、これらをつなぐように天野川、穂谷川、船橋川の3河川が流れています。また、まちなかには大小様々な公園や街路樹、社寺林などの樹林地や農地、長い歴史の中で育まれた市民生活に身近なみどりなど、枚方らしい魅力あるみどりが未だに数多く存在しています。



枚方市では、平成11年(1999年)に「枚方市緑の基本計画」を策定し、みどり豊かで美しく、快適な都市環境の形成を進めてきましたが、策定から15年以上が経過し、少子高齢化や人口減少など社会情勢の変化に伴い、市民のみどりへのニーズも変化してまいりました。また、地球温暖化対策や生物多様性の確保といった環境問題に対する意識もいっそう高まり、みどりが持つ効果に注目が集まっています。

このような中、本市では、20年後の平成47年度(2035年度)を目標年度とする「枚方しみどりの基本計画一人もみどりも元気でやさしい枚方へー」を新たに策定しました。この計画では、市民と協働でみどりを創るとともに、地域特性に応じて、みどりの質を維持・向上させることで、まちへの愛着や誇りを深める取り組みを進めます。また、市民がみどりとふれあうことにより健やかに暮らせるまち、そしてみどりの魅力にあふれ多くの人が集うまち・枚方の実現を目指します。

この計画の実現に向けては、市民や市民団体、事業者・大学、行政といった多様な主体の連携・協働が何より重要となります。これからは、みどりの豊かさを「求める」だけでなく、みどりをわたしたちの手によって「深める」取り組みを行っていきたいと思いますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、計画の策定にあたり、ひらかた Green ワークショップやアンケート、パブリックコメントなどを通じて、貴重なご意見やご提言をいただきました多くの市民の皆様をはじめ、緑の基本計画審議会の皆様、また、ご協力をいただきました全ての皆様に心から感謝申し上げます。

平成28年(2016年)3月

枚方市長 伏見 隆

目次

1. 緑の基本計画の改定にあたって	1
1-1. 緑の基本計画とは	1
1-2. みどりの定義	1
1-3. 改定の背景と考え方	2
1-4. 計画の位置付けと目標年次	5
1-5. みどりの効果	6
2. みどりの現況と課題	7
2-1. 現況と課題の整理の仕方	7
2-2. 緑地資源からみた課題	9
2-3. みどりづくりの仕組みからみた課題	28
3. 計画の基本方針	30
3-1. 基本理念	30
3-2. みどりの将来像	33
3-3. 基本方針	36
3-4. 計画フレームの設定	39
3-5. 計画目標の設定	40
4. みどりの将来像実現に向けた取り組みの方針	42
4-1. 取り組みの体系	42
4-2. 取り組みの内容	44
4-3. 重点テーマ	75
5. 計画の実現に向けて	92
5-1. 市民、市民団体、事業者・大学、行政の役割	92
5-2. 推進体制	93
5-3. 進行管理の仕組み	94
参考資料	
1. みどりの現況について	参考-1
2. 策定経緯	参考-19
3. 用語集	参考-29